

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（「現代の国語」（筑摩書房））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言語を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>「境目」という言葉を通して、言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>「境目」を通して自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>「境目」</p> <p>問いかける力を伸ばす</p> <p>・教材</p> <p>教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>「境目」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「境目」を通して自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	4	
	<p>「ことばとは何か」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解する。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、比喩、例示、言い換えなどの修辭について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>「ことばとは何か」</p> <p>情報を正確に読み取る</p> <p>・教材</p> <p>教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、比喩、例示、言い換えなどの修辭について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握し、さらに発展的な文章を理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	5	
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【実践】評論文の内容を発展的に自らの意見に結びつけ、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	2	
	定期考査				○	○		1
	<p>「ことばがつくる女と男」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>本教材を通して、ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>「ことばがつくる女と男」</p> <p>書くことで世界とつながる</p> <p>・教材</p> <p>教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>本教材を通して、ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	8	
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>推論の仕方を理解して使用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	3	
定期考査				○	○		1	

2 学 期	<p>「名付けと所有」 【知識及び技能】 言葉の認識や思考を支える働きは、対象物の定義する機能が関係していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、これまでの学習内容を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「名付けと所有」と「ことばとは何か」およびその補助プリントを関係づけて活用する。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 言葉の恣意的な定義が、認識や思考を支える働きを作り出していることを理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体・語句などの表現の仕方を工夫できている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう 【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解して使用する。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】 評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	<p>「開かれた文化」 【知識及び技能】 「名付けと所有」との関係性の中で、教科書本文の「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の違いを踏まえて、内容や構成、論理の展開などについての的確に捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム女性がスカーフを身に付けることについて、「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の立場からそれぞれ説明し、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「名付けと所有」とのつながりを踏まえて、「開かれた文化」さまざまな視点から読み解く ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 教科書本文の「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の違いを踏まえて、内容や構成、論理の展開などについての的確に捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム女性がスカーフを身に付けることについて、「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の立場からそれぞれ説明し、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう 【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解して使用する。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】 評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	3
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>「主体という物語」 【知識及び技能】 「ことばとは何か」およびこれまでの知識を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについての的確に捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「近代的な主体概念」と「文化相対主義」における主体概念の立場の違いを認識し、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「主体という物語」について、筋道を立てて論述する ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう 【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解して使用する。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】 評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（「言語文化」（大修館書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする。	・指導事項 古文に親しむ ・古文の仮名遣いや、古文に特有の言い回しに慣れる。 ・話のおもしろさを味わう。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ・文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。 【思考力・判断力・表現力】 ・本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ・僧が「そら寝」に気付いたか否かについて意見を発表している。 ・笑話としてのおもしろさを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	10
羅生門 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項 言葉の紡ぐ世界 ・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
1学期 『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする。	・指導事項 古文に親しむ ・古文の仮名遣いや、古文に特有の言い回しに慣れる。 ・話のおもしろさを味わう。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ・用言について理解し、適宜活用形を直して、新出語句、重要語句を調べることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ・良秀の行動理由と周囲の反応について説明している。 ・良秀の人物像について意見を発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	10

<p>『論語』 訓読のきまり①返り点の種類と用法 訓読のきまり②再読文字の種類と用法 訓読のきまり③主な助字の種類と用法</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとして 定期考査</p>	<p>・指導事項 漢文に親しむ ・漢文訓読のきまりを理解する。 ・『論語』の名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「精選漢文」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・『論語』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>『徒然草』 「神無月のころ」</p> <p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとする。</p>	<p>・指導事項 自然へのまなざし ・作者が季節や景物を表す表現の特徴をとらえる。 ・作者の感動の内容を読み取る。 ・作者の心情の変化を読み取る。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。</p>	○	○	○	9

2 学 期	『夢十夜』第一夜 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとする。		【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	『伊勢物語』「芥川」 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物	・指導事項 人との交わり ・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。	○	○	○	10
	『戦国策』「蛇足」 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	・指導事項 現代に生きる言葉 ・登場人物の関係を整理し、話の展開をとらえる。 ・この話から生まれた言葉について理解を深める。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「精選漢文」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>城の崎にて</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。</li> <li>「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項 文学と人生 ・主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。</li> <li>「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像</li> </ul>	<p>・指導事項 自然へのまなざし ・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>『十八史略』「鶏鳴狗盗」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</li> <li>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</li> </ul> <p>定期査</p>	<p>・指導事項 現代に生きる言葉 ・登場人物の関係を整理し、話の展開をとらえる。</p> <p>・この話から生まれた言葉について理解を深める。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「精選漢文」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。</li> </ul>	○	○	○	9
			○	○		1	
						合計	
						106	



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（ NEXT 数学 I（数研出版） ）

教科 数学 I の目標：

- 【知識及び技能】数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	命題、図形の性質や計量、関数関係やデータの散らばりや変量間の関係など、様々な事象について論理的に考察して表現する力、問題の解決過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1章 数と式 【知識及び技能】 次の事項を身につけることができるよう指導する ・簡単な無理数の四則計算をする ・2次の乗法公式及び因数分解の公式を理解する 不等式の性質及び解の意味を理解し、解を求める 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物				
	定期考査			○	○		1
	B 単元 第2章 集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的概念を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物		○	○	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 単元 第3章 2次関数 【知識及び技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する ・2次関数の最大値や最小値を求める ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求める 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフかくなどして多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物				
	定期考査			○	○		1





高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（ NEXT 数学A（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	図形の性質を見出し論理的に考察する力、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する ・具体的な事象を基に順列及び組合せの総数を求めること 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
1 学 期	A 単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求める ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求める ・条件付確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付確率を求める 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察する ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりする 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>B 単元 第2章 図形と性質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角形に関する基本的な性質について理解する</li> <li>・ 円に関する基本的な性質について理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む</li> <li>・ 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする</li> <li>・ 課題や提出物に対し前向きに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項</li> <li>・ 教材</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題テスト</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題テスト</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の取り組み</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul>	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>B 単元 第2章 図形と性質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円に関する基本的な性質について理解する</li> <li>・ 空間図形に関する基本的な性質について理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む</li> <li>・ 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする</li> <li>・ 課題や提出物に対し前向きに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項</li> <li>・ 教材</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題テスト</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題テスト</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の取り組み</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul>	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>C 単元 第3章 数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深める</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察する</li> <li>・ パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察する</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む</li> <li>・ 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする</li> <li>・ 課題や提出物に対し前向きに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項</li> <li>・ 教材</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題テスト</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題テスト</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の取り組み</li> <li>・ 課題演習</li> <li>・ 提出物</li> </ul>	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
							合計
							5

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍「化学基礎」）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の物事・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などについて理解するとともに、科学記述の発展と人間生活とのかわりについて認識を深めようとする。また、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本的な知識・技能を身に付けるようにする。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事象・現象に関わり、これらの中に問題を見出し、見通しを持って実験・観察を行い、その結果を分析・考察する中で、科学的な考え方や表現方法を理解するとともに、科学的に探究する活動を通して、規則性を見出したり課題を解決したりする力を養う。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然現象に対し、科学的に見ることが出来る態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>第1部 化学と人間生活</b> <b>第1章 化学と私たちの生活</b> <b>第2章 物質の状態</b>						
<b>【知識及び技能】</b> ・混合物と純物質とは何かを理解させ、分離・精製法について知る。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・混合物ごとに、適切な分離・精製法を選択することができる。	混合物・純物質	<b>【知識及び技能】</b> ・ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーなどの分離・精製法について理解している。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・ある混合物を分離するのに、ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの中から、適切な方法を選ぶことができる。	○	○		2
<b>【知識及び技能】</b> ・物質を構成する元素とその検出法について理解させる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・元素の意味を理解し、単体と化合物に分類することができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・元素とその検出法について調べようとする態度を養う。	元素・単体・化合物 <b>【実験：混合物の分離・炎色反応】</b>	<b>【知識及び技能】</b> ・元素について理解し、元素記号と元素名を答えることができる。 ・同素体とは何かを理解し、代表的な元素の同素体の名称を挙げることができる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・元素と単体の意味の違いについて説明することができる。 ・炎色反応や沈殿反応から成分元素を特定することができる。 ・身の回りの物質を、単体・化合物・混合物に分類することができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・炎色反応や沈殿反応などの実験を通して、元素を調べようとする態度を養う。	○	○	○	3
<b>【知識及び技能】</b> ・熱による物質の状態変化について理解させる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・物質の三態について、熱運動と関連付けて説明することができる。	粒子の熱運動と物質の状態	<b>【知識及び技能】</b> ・物質を構成する粒子は熱運動しており、温度が高くなると熱運動が激しくなることを理解することができる。 ・物質の状態は、粒子の熱運動及び粒子間に働く力の大小で決まることを理解することができる。 ・物理変化と化学変化の違いについて理解することができる。 ・絶対温度について理解し、絶対温度とセルシウス温度を相互に換算することができる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・物質の三態と熱の関係、熱運動による物質の変化と、絶対温度について考えることができる。	○	○		1

<b>第2部 物質の構成</b> <b>第1章 物質の構成粒子</b> <b>【知識及び技能】</b> ・原子の構造を理解させる。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・電子配置を、電子殻を用いて表現することができる。	原子の構造と電子配置	<b>【知識及び技能】</b> ・陽子・中性子・電子の電荷及びそれらの質量比について理解する。 ・原子番号や質量数から陽子・中性子・電子の数を求めることができる。 ・放射性同位体の日常生活における利用例について理解している。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・電子殻について理解し、原子番号20までの原子の電子配置を、電子殻を用いて表現することができる。	○	○		4
<b>【知識及び技能】</b> ・周期律と周期表、元素の性質について理解させる。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・周期律について理解し、適切な文章で表現できる。	元素の周期表	<b>【知識及び技能】</b> ・元素の周期表の配列について理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・周期律について理解し、元素の性質を考察ことができ、適切な文章で表現できる。	○	○		1
<b>定期考査</b>						1
<b>【知識・技能】</b> ・イオンに関する基本的な知識を身につける。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・イオンの生成の仕組みを理解し、考えることができる。	イオンの生成	<b>【知識・技能】</b> ・イオンの名称について理解している。 ・イオンの生成の原理と、イオンの価数とイオン式の関係がわかる。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・イオンの生成を電子配置から説明できる。	○	○	○	2
<b>第2章 化学結合</b>						
<b>【知識及び技能】</b> ・イオン結合でできた物質の性質について理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・イオン結合でできた物質について、組成式を用いて適切な表現ができる。	イオン結合	<b>【知識及び技能】</b> ・イオン結合による物質の性質がわかる。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・イオン結合とイオン結合でできた物質について、組成式を書いてその構成を考察することができる。	○	○		1
<b>【知識及び技能】</b> ・共有結合と分子の成り立ちについて理解する。 ・電気陰性度と極性について理解する。 ・分子結晶、共有結合の結晶の性質を理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・電子式と構造式を使って、共有結合を理解し、分子を表現することができる。 ・電気陰性度や分子の形を踏まえて、分子の極性について考えることができる。 ・極性と溶解性について考えることができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・極性と溶解性について調べようとする。	共有結合 電気陰性度と分子の極性 <b>【実験：極性と溶解】</b>	<b>【知識及び技能】</b> ・価電子と、共有電子対・非共有電子対について理解している。 ・NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> などを例として、配位結合ができる仕組みを理解している。 ・電気陰性度について理解している。 ・代表的な共有結合の結晶及び高分子化合物の構造と用途を知る。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・電子式と構造式を使って、分子を表現することができる。 ・極性が生じる理由について、電気陰性度と関連付けて理解し説明できる。 ・電気陰性度と分子の形から極性の有無を判断し、表現することができる。 ・極性と溶解性との関係について適切な表現ができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・実験を通して、極性と溶解性の関係について調べようとしている。	○	○	○	5
<b>【知識及び技能】</b> ・金属結合について知り、金属の性質について理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・金属の性質について、自由電子の性質と関連付けて考えられる。	金属結合	<b>【知識及び技能】</b> ・自由電子の性質について理解している。 ・金属の電気伝導性・熱伝導性・展性・延性等の性質を理解している。 ・代表的な合金の名称と用途について知っている。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 金属結合と金属の性質とその性質をもつ理由について、電子の動きと関連付けて考えることができる。	○	○		1
<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・化学結合と物質の分類について理解し、適切に分類することができる。	化学結合と物質の分類	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・物質を構成する元素の種類から化学結合を分類ことができ、さらに結合の分類から物質の性質を判断することができる。	○	○		1
<b>定期考査</b>						1

2 学 期	<b>第3部 物質の変化</b> <b>第1章 物質と化学反応式 原子量</b>							
	<b>【知識・技能】</b> ・原子量・分子量・式量について意味を理解する。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 分子量・式量を適切に求めることができる。	原子量・分子量・式量	<b>【知識・技能】</b> ・原子量の考え方について理解し、相対質量と存在比から原子量を求めることができる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 原子量から分子量・式量を適切に求めることができる。	○	○		2	
	<b>【知識・技能】</b> ・物質の概念を理解している。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・物質を使って適切な値に換算することができる。	物質	<b>【知識・技能】</b> ・物質の単位やアボガドロ定数を理解し、適切に扱うことができる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・物質と粒子数、質量、標準状態における体積の関係を理解し、それぞれ換算することができる。	○	○		4	
	<b>【知識・技能】</b> ・濃度の概念を理解している。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・それぞれの濃度の意味を理解し、適切な値に換算することができる。	溶液の濃度	<b>【知識・技能】</b> ・質量パーセント濃度について理解している。 ・モル濃度について理解している。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・溶質の質量と溶液の質量から質量パーセント濃度を適切に求めることができる。 ・溶質の質量と溶液の体積からモル濃度を適切に求めることができる。	○	○		3	
	<b>【知識・技能】</b> ・化学変化を化学反応式で表し、そのしくみを考えることができる。	化学反応式	<b>【知識・技能】</b> ・化学変化について、反応物と生成物を分子式で表し、化学反応式を書くことができる。 ・化学反応式の係数比が物質比に対応していることを理解し、物質量の量的関係について計算によって求めることができる。	○			2	
	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・反応する物質の量的関係を、反応式の係数比から考えることができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・化学変化と物質量の関係を調べようとしている。	化学反応式の量的関係 【実験 化学変化と物質量】	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・化学反応式の係数比が物質比に対応していることを理解し、物質量の量的関係について計算によって求めることができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・炭酸カルシウムと塩酸の反応から、発生する二酸化炭素の量的関係について理論的に調べようとしている。		○	○	4	
	<b>定期考査</b>							1
	<b>第2章 酸と塩基</b>							
	<b>【知識・技能】</b> ・酸と塩基の性質と電離度について理解する。	酸と塩基	<b>【知識・技能】</b> ・酸と塩基の定義について理解している。 ・代表的な酸と塩基の価数や電離度をもとに強弱を答えることができる。	○			2	
	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・水素イオン濃度とpHの関係について理解し、計算によって適切な値を求めることができる。	水の電離 水素イオン濃度・pH	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・水の電離とpHの意味を理解し、水溶液の酸性・塩基性の強弱が生じる仕組みを考察することができる。		○		2	
<b>【知識・技能】</b> ・中和反応や中和による塩の生成とその性質を理解する。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・塩の種類と性質を分類することができる。	酸と塩基の中和反応 塩の種類と性質	<b>【知識・技能】</b> ・中和反応、中和点の意味について理解することができる。 ・塩の種類と性質について理解し、分類することができる。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・塩の組成式からもとの酸と塩基を求め、適切に塩の種類と性質を分類することができる。	○	○		2		
<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・中和反応の量的関係を理解している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・中和の量的関係から未知の濃度を求めようとしている。	中和反応の量的関係 滴定曲線 逆滴定 【実験 中和滴定】	<b>【知識・技能】</b> ・適切に実験器具を扱い、中和滴定の実験を行うことができる。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・水溶液中の反応において、中和反応の量的関係を理解し、計算によって求めることができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・酢酸の中和滴定を通して、未知の酢酸の濃度を求めようとしている。	○	○	○	4		
<b>定期考査</b>							1	

第3章 酸化還元反応						
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化と還元の定義と酸化数について理解させる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化・還元の定義をもとに、酸化・還元を判断できる。</li> </ul>	酸化と還元	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化・還元の定義について理解し、説明することができる。</li> <li>酸化数の定義を理解し、適切に求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸素・水素・電子を含む反応式を見て、物質が酸化されているか、還元されているかを判断することができる。</li> </ul>	○	○		2
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化剤と還元剤とその反応について理解させる。</li> <li>金属のイオン化とイオン化傾向について理解させる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化剤と還元剤の反応を適切に表すことができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化・還元、金属のイオン化傾向について調べようとしている。</li> </ul>	酸化剤と還元剤 酸化還元反応電子を含むイオン反応式 酸化還元反応 【実験 酸化還元反応・イオン化傾向】	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化剤・還元剤について理解し、半反応式を用いて適切に表現することができる。</li> <li>金属のイオン化傾向について理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応を半反応式から求め、量的関係から計算を用いて求めることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験を通して、酸化還元反応、金属のイオン化傾向の大小について調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電池、電気分解の原理について、理解する。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電池、電気分解で起きる反応について適切に表現することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電池、電気分解の原理について、調べようとしている。</li> </ul>	電池 金属の精錬 電気分解 【実験 電池】 【実験 電気分解】	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電池、電気分解の原理について、酸化還元反応と関連付けて理解する。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負極、正極の反応を反応式で表すことができる。</li> <li>陰極、陽極の反応を反応式で表すことができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電池を作り、電池の原理について調べようとしている。</li> <li>電気分解について量的関係を調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応が日常生活において多く利用されていることを理解させる。</li> </ul>	酸化還元反応と人間生活	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属やプラスチックは、それらの特性を生かして加工され利用されていることを理解する。</li> <li>使用済みの金属やプラスチックが、回収後、再利用されるまでの過程を理解する。</li> <li>洗剤の成分と化学的な働きについて理解する。</li> </ul>	○			2
<b>学年末考査</b>						1
						合計
						70





年間授業計画 様式

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育・図説現代高等保健）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】保健や体育で得た知識と技能を活用し、生涯にわたり率先、また適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会や健康、自己の課題を発見し、適切に判断・行動ができる思考力等を高める。

【学びに向かう力、人間性等】自己の体力や健康について課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に取り組む。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的に学んだ知識や技能を実生活で生かし、情報活用能力を育む。	個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。	課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 健康の考え方や成り立ち 2 私たちの健康の変 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 【知識及び技能】 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識・技能】 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	5 がんの発症と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会意識の変化等によって、発生流行の状況（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識・技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	8 体育・運動と健康 9 食事と健康 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
定期考査				○	○	○	1
2 学期	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の予防 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識及び技能】 飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	5
	13 精神疾患の予防 14 精神疾患の回復 15 現代の感染症 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基礎となる心理的、生物学的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	5
	16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基礎となる心理的、生物学的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識・技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会意識の変化等によって、発生流行の状況（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	3
定期考査				○	○	○	1
3 学期	19 事故の現状と発生原因 20 安全な社会の形成 21 交通における安全 【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	4
	22 応急手当ての意義とその基本 23 応急手当ての手順 24 応急手当ての手順 【知識及び技能】 命の危険や身体を失う、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当ての手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の緊急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当てについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当てについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等	【知識及び技能】 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当ての手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の緊急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当てについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当てについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	4
	定期考査				○	○	○

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術科 科目 音楽 I

教科：芸術科 科目：音楽 I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組  
 教科担当者：  
 使用教科書： ON 1

教科 芸術科 の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす

- 【知識及び技能】 小テスト、実技発表会
- 【思考力、判断力、表現力等】 小テスト、実技発表会
- 【学びに向かう力、人間性等】 授業への取り組み

科目 音楽 I の目標：音楽の基礎的な事柄を理解して、豊かな表現力を培う

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の基礎知識を学習し理解を深める 実技の基礎的な奏法などを習得する	音楽の基礎的な事柄を理解する 豊かな表現力を培う	課題に取り組む姿勢 練習に取り組む姿勢 グループの仲間と協力して練習する姿勢

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：楽典 【知識及び技能】 楽典；楽譜の基礎知識の習得  【思考力、判断力、表現力等】 音符、拍子について理解する  【学びに向かう力、人間性等】 積極的に課題に取り組もう	・音符の長さ、拍子、繰り返し記号等について学習する ・プリント学習	【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に課題に取り組んでいるか	○	○	○	12
	単元：歌唱 【知識及び技能】 正確に音取りをして歌おう 【思考力、判断力、表現力等】 伸び伸びと歌おう 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に歌おう	・発声の基礎基本を身につけ、歌うことの楽しさを味わう 「O' sole mio」 「ホールニューワールド」 「いざ立て戦人よ」他	【知識・技能】 ・観察による評価 【思考・判断・表現】 ・発表会 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に歌唱しているか	○	○	○	14
2 学期	単元：アルトリコーダー 【知識及び技能】 運指の基礎基本の習得  【思考力、判断力、表現力等】 きれいな音色で伸び伸び演奏しよう  【学びに向かう力、人間性等】 積極的に課題曲に取り組もう	・C、F、GDurの音階 ・「シチリアーナ」 「ララルー」	【知識・技能】 ・音階小テスト 【思考・判断・表現】 ・実技発表会 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ペアの生徒と協力して練習に取り組んでいるか	○	○	○	12
	単元：鑑賞 【知識及び技能】 モーツァルトを知ろう 【思考力、判断力、表現力等】 その時代の風俗、楽器について知ろう 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に鑑賞しよう	・「アマデウス」の鑑賞を通して、モーツァルトの人生や作品を知る ・関連してその時代の音楽やオペラ、レクイエムなどについて学習する ・「魔笛」の鑑賞	【知識・技能】 ・観察による評価 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞しているか ・ワークシート	○	○	○	14
3 学期	単元：コードネーム 【知識及び技能】 基本的三和音を知ろう  【思考力、判断力、表現力等】 鍵盤楽器でコードを探そう  【学びに向かう力、人間性等】 積極的に課題に取り組もう	・基本的な三和音の構成音を知る ・メジャーコードとマイナーコードの違いを知る ・鍵盤上でコードネームを探せるようになる	【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察による評価 ・プリント学習	○	○	○	10
	単元：ハンドベル 【知識及び技能】 ベルの音名が分かるようになろう 【思考力、判断力、表現力等】 グループで演奏しよう 【学びに向かう力、人間性等】 協力して練習に取り組もう	・互いの音を聴きあいながら協力してアンサンブル活動する ・「小さな世界」「涙そうそう」	【知識・技能】 ・英語音名の理解 【思考・判断・表現】 ・発表会 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループで協力して練習しているか ・観察 ・練習の記録ワークシート	○	○	○	8







高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（ 家庭基礎 自立・共生・創造 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に資する実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第6章 食生活をつくる	・食生活の課題について考える	【知識・技能】 ・定期考査 ・授業プリント  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・授業プリント	○	○	○	4
	第6章 食生活をつくる	・五大栄養素（炭水化物、脂質、たんぱく質）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業プリント ・提出物	○	○	○	6
	第6章 食生活をつくる	・五大栄養素（ビタミン、ミネラル）		○	○	○	8
	第6章 食生活をつくる	・食生活の選択と安全 ・調理の基礎		○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 被服実習	・人生を展望する ・家族・家庭を見つめる	【知識・技能】 ・定期考査 ・授業プリント  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・授業プリント	○	○	○	6
	第3章 子どもと共に育つ 被服実習	・命を育む ・子どもの育つ力を知る	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業プリント ・提出物 ・製作物	○	○	○	6
	第3章 子どもと共に育つ 調理実習	・子どもの生活 ・これからの保育環境		○	○	○	8
	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	・高齢者の心身の特徴 ・社会保障の考え方		○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第9章 経済生活を営む 第8章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利と責任</li> <li>・購入・支払いのルールと方法</li> <li>・安全で快適な住生活</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業プリント</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業プリント</li> </ul>	○	○	○	6
	第8章 住生活をつくる 第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活の変遷と住居の機能</li> <li>・被服を管理する</li> </ul>	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・授業プリント</li> <li>・提出物</li> </ul>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							63

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 情報Ⅰ ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】知識の習得や知識の概念的な理解、情報機器の操作の基本的な技術の習得ができています。

【思考力、判断力、表現力等】習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいる

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけるとともに、情報社会と人とのかかわりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
情報とメディア	・様々なメディアの特徴や、情報の適切な表現形式について理解させる。 ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物	○	○	○	4	
情報技術が社会に及ぼす影響	・人工知能やデジタルトランスフォーメーションなど、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解させる。 ・インターネット上のトラブルなどを学び、情報技術の適切な活用について理解させる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・リアクションペーパー	○	○	○	4	
情報のデジタル表現	・情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとデジタル情報の特徴を理解させる。 ・デジタル情報のデータ圧縮の原理と具体例について理解させる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物	○	○	○	6	
情報デザイン	情報デザインについて、情報を抽象化・構造化・可視化する方法を習得し、情報を伝える目的や受け手の状況をふまえた適切な表現方法を選択できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・リアクションペーパー	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	情報社会における法とセキュリティ	情報社会でよりよく生きるために、情報モラルにもとづいた行動や、定められている法規・制度について理解させる。 ・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解させる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物	○	○	○	8
	コンピュータとプログラミング	・コンピュータの基本的な構成を理解させる。 ・OSやアプリケーションプログラムのちがいなど、ソフトウェアの基本的な内容を理解させる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・リアクションペーパー	○	○	○	10
	モデル化とシミュレーション	・モデル化とシミュレーションの考え方や方法を理解させ、実際の問題解決に活用できるようにする。 ・モデルのちがいによってシミュレーションの結果や精度が異なる場合があることを理解させる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物	○	○	○	7
	ネットワークの仕組み	・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルについて理解させる。 ・通信の信頼性を確保するための方法について理解させる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・リアクションペーパー	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	



3 学 期	データベース	データベースが活用されている情報システムについて、その種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と影響を理解させる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物  【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物	○	○	○	4	
	データの分析	・データを分析する前に必要となる、データの形式に関する知識やデータの収集方法、データの種類について理解させる。 ・数学的なデータ分析の基礎を理解し、表計算ソフトウェアなどを使って簡単な数学的データ処理や分析を行う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・リアクションペーパー	○	○	○	6	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70